



奈良岡さんの創業まで

2020年4月 退職

4月 オンラインで  
ビジネス支援センターに相談

6月 帰国 & 弘前にUターン

6月 事務所物件見つける

7月 創業

支援機関から一言

奈良岡さんとの対応は、当時奈良岡さんがまだ海外にいらっしやっただのでZOOMを使ったリモート対応が主でした。海外での事業経験豊富な方なので、打ち合わせや計画書作成等もスムーズでした。常に挑戦する姿勢が素晴らしく今後が楽しみです。

インフォメーション

The Digital X 合同会社



<https://www.thedigitalx.net/>

奈良岡さんの動画が  
こちらからご覧いただけます!



上右) 日々クライアント企業のウェブサイトをチェックし、集客数や広告収益などにアドバイスや提案を行う。上左) 複数のプロジェクトが同時進行で進む。9割が首都圏のクライアントだが、地元のお客さんも少し増えてきた。左) 奈良岡さんの趣味はスノーボード。冬は近くの青森スプリング・スキーリゾートへ。

自然があり、のんびりしていて、地方だとリビングコストを抑えられる。東京で事務所を借りる費用で、事務所だけでなく住居もかなえる、と奈良岡さんは地方創業の魅力を語る。実際、奈良岡さんは弘前駅前

Uターン創業の魅力

を探したり。計画的な行動が奏功し、事業計画書へのダメ出しがほとんど無かったと振り返る。創業支援を受けて良かったところは、金融機関との面談で間に入ってくれること、また、会計や資金調達面で心強かった。

の好立地にオフィスを構えた。暮らしやすい場所の方が仕事の質も上がると感じている。  
「どこでどう生きたいか。肝心なのは自分のピンの立て方」  
創業してからは健康に気を使うようになった。ほほ独りで業務をまわしているため、いかにクオリティを保つかが課題。同時に、創業者として年に一つは新しいプロジェクトを立ち上げることを自分に課している。昨年はフードデリバリーのWootを弘前に導入、次は大好きなスノーボードのEC事業を始めるつもりだ。



ボーダーレスに働ける時代  
大切なのは自分のピンの立て方。

Uターン 奈良岡 和也さん

弘前市 → 東京都 → 海外 → 弘前市

The Digital X 合同会社

(デジタルマーケティング)

2020年7月創業



デジタルマーケティングの仕事を選び、海外で活躍してきた奈良岡さん。ポジティブな姿勢とニューノーマルな働き方は、Uターン創業に向いているようです。

タイからのUターン

高校卒業後、東京のスノーボードビジネスの専門学校に入学した奈良岡さん。スノーボードメーカーの営業として3年勤めた後、成長著しいデジタルマーケティングの世界へ転職を決意し、32歳で海外留学。フィリピンの語学学校を経てオーストラリアのマーケティングカレッジで2年間学んだ。マレーシアにある日系企業に採用されて現地支社へ配属となる。デジタルマーケティングの新規事業立ち上げに尽力し支社長になったものの、奈良岡さんは他社からのオファーを受けて今度はタイへ。積極的に仕事に向き合ってきたが、不運なことに新型コロナウイルスの流行でタイのプロジェクトは頓挫。  
「周囲に社長が多い環境だったし、せつかくなら自分も一度くらい創業してみ

ようかと思っただ」  
ビザが残り2ヶ月で身の振り方に悩んだが、「Uターン+創業」で補助金が出るというのも背中を押した。  
**意外な誤算がありつつも**  
ひろさきビジネス支援センターと創業の話を進める中、思わぬ事実が発覚する。「タイからだっただけでオンラインでやりとりできたのは非常に助かりました。ただ、この話にはオチがあつて……。海外からだとうターン補助金が出ない」  
大都市圏なら該当するものと思っていたが、対象外と判明。海外からUターンを考えている方は確認しておいたほうが良い、と奈良岡さん。補助金の存在は背中を押された理由のひとつだった。中止せず弘前で創業することに決めた。帰国までにはできることはやっておこうと、事業計画書を作ったり、事務所物件